

令和元年度 長崎県優秀工事知事表彰 受賞工事

施工業者五十音順・敬称略

出来ばえ

| | | | |
|---------|------------------------------------|---|--|
| 池島港改修工事 | ㈱上滝 〔代表取締役＝上滝満〕 〔監理技術者＝白丸善継〕 | 【工事概要】 北防波堤L=17.5m 基礎工L=23.6m 本体工L=17.5m | 【表彰理由】防波堤工事において、波浪等の影響を受ける海上での施工を最小化するため、陸上での型枠一括組み立てと、クレーン付台船による運搬・設置を実施した。型枠は大型（17.5m×10.1m×3.1m）となるが、シャッターリングとH鋼を用いた強固な構造とすることで、精度が高く出来ばえの優れた構造物を構築させた。 |
|---------|------------------------------------|---|--|

| | | | |
|----------------------------|---------------------------------------|--|---|
| 愛津原地区区画整理工事 (12工区・13工区) | ㈱寺尾建設 〔代表取締役＝寺尾孝幸〕 〔監理技術者＝藪田俊哉〕 | 【工事概要】 整地工A=6.37ha 沈砂池工N=1ヶ所 道路工L=785.5m 排水路工L=1001.5m | 【表彰理由】県内有数のばれいしょの産地での畑地整備において、広大な畑地の整地作業にレーザーレベルを使用し、高い精度で施工するとともに、景観に調和し通りの良い安定した石積を構築させるなど、出来ばえに優れ営農者に喜ばれる畑地を完成させた。 |
|----------------------------|---------------------------------------|--|---|

| | | | |
|---------------------------------|---------------------------------------|---|---|
| 一般県道田ノ浦平戸港線道路 災害防除工事(常灯鼻護岸工) | 平戸建設㈱ 〔代表取締役＝山内雅登〕 〔監理技術者＝幸谷祐治〕 | 【工事概要】 工事長L=140m、 W=5.5(7.0)m 石垣修復工A=597㎡ 準備工A=170㎡ 石垣解体工A=132㎡ 仮設工N=1式 | 【表彰理由】国指定重要文化財である護岸の復元・復旧工事において、文化財関係者との協議を円滑に進めるとともに、文化財石積の経験者のノウハウを参考に、マーキング、番号記入、グリッドなどの手法を活用し、綿密な測量や正確な材料加工を行い、忠実に石積護岸を復元したことにより、美観に優れた構造物を構築させた。 |
|---------------------------------|---------------------------------------|---|---|

創意工夫

| | | | |
|--------------------------------|--|--|--|
| 一般県道諫早外環状線道路改良工事(貝津東跨線橋上下部工製作) | ㈱大島造船所長崎営業所 〔所長＝財津直也〕 〔監理技術者＝松田明德〕 | 【工事概要】 工事長L=0(104.5)m、 W=7(12)m 鋼3径間連続非合成桁104.5m P1橋脚：門型鋼製橋脚1基 P2橋脚：張出式鋼製橋脚1基 | 【表彰理由】鋼3径間連続非合成桁橋及び鋼製橋脚の製作において、剛結部の横梁下フランジの一枚取りへの変更や、引張十字継手部には耐ラメラテア鋼材を使用するなど、溶接部の疲労耐久性を高める工夫に取り組んだ。あわせて、溶接部の試験を厳しい基準で実施し品質の向上を図り、耐久性に優れた橋梁を完成させた。 |
|--------------------------------|--|--|--|

| | | | |
|------------------|---|--|--|
| 平漁港海岸高潮対策工事(1工区) | 大坪建設㈱県北営業所 〔所長＝大坪喜一〕 〔監理技術者＝小西裕輔〕 | 【工事概要】 離岸堤L=73.0m (基礎工L=66.0m、消波工L=73.0m) 離岸堤(改良)L=40.0m (消波工L=40.0m) 仮設工N=1.0式 | 【表彰理由】浅水域における離岸堤工事において、仮設道路設置による陸上施工から、支障となる海域の岩などを取り除き、喫水の浅いクレーン付台船を使用する海上施工に見直し、作業日数を短縮するための工夫に取り組んだ。また、消波ブロックの据付方法を乱積から層積に見直すことで作業性を向上させ、目標とした台風襲来時期前の工事完成を成し遂げた。 |
|------------------|---|--|--|

| | | | |
|---------------------------------------|--|--|--|
| 「長崎県立・大村市立一体型図書館及び大村市歴史資料館」(仮称)空調設備工事 | 研進・フジエ・九設特定建設工事共同企業体 〔研進工業㈱(代表取締役＝八戸泰道)、㈱フジエテック(代表取締役＝藤川彰二)、九設工業㈱(代表取締役社長＝八百山千成)〕 〔監理技術者＝原豊〕 | 【工事概要】長崎県立図書館、大村市立図書館、大村市歴史資料館、多目的ホールを有する複合施設の建設工事にかかる空調設備工事。 (建物概要)S造地上6階 延床面積13,326㎡ | 【表彰理由】関連する建築本体工事が天候不順等の影響を受け、空調設備を含む内部工事全般の着手に遅れが生じたため、作業工程の効率化のための工夫に取り組んだ。冷温水配管の溶接、水圧試験を工場で行い、現場では溶接が不要なハウジング形継手を用いることで現場作業の大幅な短縮と品質向上の両立を図り、工期内の完成を実現させた。 |
|---------------------------------------|--|--|--|

| | | | |
|----------------------------------|---------------------------------------|---|--|
| 一般県道奥ノ平時津線道路改良工事((仮称)左底高架橋A1下部工) | ㈱西海建設 〔代表取締役＝寺澤孝憲〕 〔監理技術者＝野口一郎〕 | 【工事概要】 A1進入路工： 掘削工V=9,270㎡ 盛土工V=600㎡ コンクリート舗装工A=497㎡ A1橋台工：橋台工N=1基 (V=515㎡) | 【表彰理由】橋梁下部工事において、コンクリートの品質向上の工夫に取り組み、温度応力解析による打設リフト高の決定や、温度測定器による測定により脱枠時期を決定した。また、ひび割れ防止対策として誘発目地の設置や、配力鉄筋の増量により、打設面の仕上がりも良好でクラックの無い耐久性に優れた構造物を構築させた。 |
|----------------------------------|---------------------------------------|---|--|

| | | | |
|---------------|---|---|--|
| 石木ダム付替県道工事(2) | ㈱西日本建設 〔代表取締役社長＝東房昭一〕 〔主任技術者＝東房翔〕 | 【工事概要】 施工延長L=327m 土工一式(切土V=91,700㎡、 盛土V=74,400㎡) | 【表彰理由】県道付替工事における掘削土砂9万㎡の運搬について、工期短縮のための工夫に取り組み、設計のダンプトラック運搬に加え、高低差のある別の残土処分場にブルドーザでの押土運搬を提案し、作業の効率化を図った。また、当初想定していなかった岩盤1万㎡の掘削では、1.5t級の超低騒音型大型ブレーカを導入して進捗を遅らせることなく、工期内に工事を完成させた。 |
|---------------|---|---|--|

| | | | |
|----------------|---------------------------------------|------------------------------------|--|
| 勝本港統合補助工事(1工区) | ㈱広瀬組 〔代表取締役社長＝広瀬孝明〕 〔監理技術者＝広瀬章〕 | 【工事概要】 浮棧橋工L=73.4m、 N=碇けい工1式 | 【表彰理由】浮棧橋のガイドレールをクレーン付台船で設置する工事において、出来形精度向上の工夫として、既設護岸に取り付けた仮設の支持金具にガイドレールを固定することにより、台船の揺れなどによる影響を受けず、高い精度で施工を行った。また、型枠にクッション材を設置し、既設護岸面と密着させることでモルタルが漏れることなく、出来ばえの良い仕上がりとなった。 |
|----------------|---------------------------------------|------------------------------------|--|

| | | | |
|--------------------------|--|--|---|
| 主要地方道佐々鹿町江迎線道路改良工事(A1橋台) | 堀内組・誠伸建設特定建設工事共同企業体 〔㈱堀内組(代表取締役＝山下功三)、㈱誠伸建設(代表取締役＝崎田幸裕)〕 〔監理技術者＝山田正〕 | 【工事概要】 L=0(35)m W=6.0(9.75)m 橋台工N=1基 地盤改良工N=70本 ブロック積工A=78㎡ 護岸工L=10m | 【表彰理由】河川内における橋台及び護岸工事において、コスト削減のための工夫に取り組み、護岸の基礎地盤改良を行うための仮設計画において、河川内に仮設道路を設置する計画を見直し、橋台ウイングの構造縮小と地盤改良機械の大型化により、鋼矢板と大型土のうによるコンパクトな仮設スペースでの施工を可能とし、大幅なコスト削減と施工期間の短縮を実現した。 |
|--------------------------|--|--|---|

地域貢献

一般県道栴島線道路災害防除
工事(落石対策工)

(株)今村組
〔代表取締役＝今村音博〕
〔監理技術者＝川口善人〕

【工事概要】
工事延長 L=137m
高エネルギー吸収型落石防護
網工 A=2,486㎡
転石小割工 N=1式

【表彰理由】過疎化が進む二次離島において、工事期間中の地元住民の安全対応のため、作業従事者を休日も含め常駐させ、台風通過後、迅速に県道全線のパトロール及び清掃等を行った。また、地元祭事の神輿の担ぎ手としての参加や福江島の中学生を招いての親子の見学会を開催した。これらの取組みにより、建設業が果たす災害時の役割や必要性を伝え、建設業のイメージアップに貢献した。

佐世保地区六郎ため池整備工
事

(株)朽原建設
〔代表取締役＝朽原元樹〕
〔監理技術者＝小村隆昭〕

【工事概要】
堤体工 L=143.3m
洪水吐工 L=37.5m
斜樋工 N=1式
底樋工 L=42.6m

【表彰理由】ため池改修工事において、ため池の受益者ではない周辺住民の協力を得るため、運搬経路の清掃活動、現場新聞の配布や地元の祭事への参加などにより周辺住民との良好な関係構築に努めた。この結果、周辺住民からの協力が得られ、土砂運搬経路沿いの民地に離合場所を設置することができ、運搬作業の効率化が図られ、工期内に工事を無事完成させた。

有喜南部地区区画整理工事
(24-2工区)

西州建設(株)
〔代表取締役＝中村辰弥〕
〔監理技術者＝島田忠幸〕

【工事概要】
整地工 A=2.6ha
道路工 L=432.1m
排水路工 L=80.8m

【表彰理由】急斜面地でのほ場整備において、営農者及び地域住民の協力を得るため、工事新聞の配布や3D画面を用いた現地説明の実施により工事への理解及び周知を図った。また、仮設沈砂池の設置、農道補修及び高校生のインターンシップ受け入れを実施し、地元住民とのコミュニケーションを深め、円滑な工事に繋げ、苦情等なく工事を完了させた。

観音川通常砂防工事

大宝建設(株)
〔代表取締役＝柴田久直〕
〔監理技術者＝戸村敬一〕

【工事概要】
砂防堰堤工 N=1基
(H=12.0m、L=54.9m、
V=2,338㎡)

【表彰理由】砂防堰堤施工にあたり、地域住民の協力を得るため、地域住民を招いて現場見学会の開催、3Dシアターによる土石流体験により、工事内容や土砂災害対策の必要性について周知を図った。また、岩盤掘削においては、棄液破碎、防音シートの設置など騒音防止対策を実施した。これらの取組みにより、地元住民の理解が得られ、円滑な工事の推進が図られた。

一般国道382号交通安全施設
等整備工事(昭和橋側道橋)

(株)ハラダ
〔代表取締役＝原田繁盛〕
〔監理技術者＝三槻文博〕

【工事概要】
工事長 L=50m
側道橋 L=19.3m

【表彰理由】側道橋の設置にあたり、利用する地域住民の理解を得るため、通学する小学生を対象に親子の現場見学会を開催し、ツシマヤマネコのモザイクアートをインターロッキングで製作、側道橋のボルト締め体験に加え、土木の魅力を伝える講話などを行った。この取組みにより地域との良好な関係を構築し、円滑に工事を進めるとともに、メディアを通じて土木行政の広報活動にも寄与した。

高度技術

田中(2)地区急傾斜地崩壊対
策工事

(株)ウエノ
〔代表取締役＝上野英剛〕
〔監理技術者＝塚本裕〕

【工事概要】
アンカー工 N=90本
ノンフレーム工 N=78本
落石防止網工 A=388㎡

【表彰理由】尾根部のアンカー工事において、支持地盤線が想定よりも深くアンカー長を変更したことで、アンカー定着部の必要離隔が確保できない可能性があったため、3Dキヤドを用いてアンカー配置を画像化し、必要離隔が確保できるように削孔方向の変更を提案した。また施工においてはレーザー付トランシットとデジタル勾配器により随時確認を行いながら施工することにより、アンカー工の確実な施工と品質確保を実現した。

白崎地区区画整理工事(1工
区)

門田建設(株)西海支店
〔支店長＝古川光治〕
〔監理技術者＝森田勇人〕

【工事概要】
整地工 A=2.1ha
道路工 L=387.6m
排水路工 L=129.2m

【表彰理由】傾斜地における樹園地の区画整理工事において、測量から施工までICT技術を活用することにより、扱土量約5万㎡の土工事を効率的かつ安全に実施し、営農者が希望する植栽時期までに工事を完成させるとともに、畝がまっすぐに通った出来ばえの良い樹園地を構築させた。

主要地方道小浜北有馬線道路
改良工事(切土2工区)

宅島建設(株)
〔代表取締役＝宅島寿孝〕
〔監理技術者＝濱中誠〕

【工事概要】
掘削工 V=29,700㎡
排水工 L=195m

【表彰理由】道路切土工事において、ICT土工による生産性の向上に取り組んだ。加えて、バックホウのバケット内土量(重量)を管理できる機器を装備し、各ダンプトラックへの積込み管理を行うことにより過積載防止対策を行うとともに、ダンプトラックにGPS装置を設置し、運行管理とダンプ運転手に対して危険箇所での自動音声による注意喚起の実施など、安全管理の向上にも取り組んだ。

高田南三千隠線道路改築工事
(土工)

錦建設工業(株)
〔代表取締役＝前田大介〕
〔監理技術者＝浦川丈〕

【工事概要】
工事延長 L=140m
切土工 V=39,700㎡

【表彰理由】道路切土工事において、通常のICT土工に加え、掘削土量の進捗管理のために自動運航専用ドローンを使用した。これにより、日々の掘削進捗状況を即日のうちに容易に把握することができ、施工に加え、進捗管理の省力化、効率化が図られた。



建設新聞

ご購入者専用サービスサイト

入札情報/発注予定・予算/完成工事高/格付け/記事

お申込みは

トップ画面「入会案内」▶

インターネット会員お申し込み

当社ホームページをご覧頂くには、パスワードのお申し込みが必要となります。ホームページ上から受け付けておりますので、お気軽にお申し込みください。

<http://www.kensetsunews.co.jp>

ご登録は、お済みですか?

ご購入者専用
WEB
サイト